

# 第8回 カンボジア スタディーツアー 2009 夏

子どもや女性を支援する現地の3つの NGO を訪問。プロジェクトの視察や、子どもたちとの交流ができます。世界遺産アンコールワット観光も盛り込まれたカンボジア 8 日間の旅。

旅行期間

**8 月 25 日(火)~9 月 1 日(火) 6泊8日**

訪問地

カンボジア(プノンペン・スバイリエン・シェムリアップ)

旅行代金

205,000 円(学生満 22 歳以下 183,000 円)

※上記以外に、航空保険料・燃油特別付加運賃・空港施設使用料・カンボジアビザ代行代・現地航空税・海外旅行保険(加入必須)、現地での一部食費(約 US90ドル)・会費(一般 5000 円・学生 2000 円)などがかかります。詳しくは裏面をご参照ください。

出発地

成田空港

定員

16 名(最小催行人員 8 名)

※学生枠には限りがありますのでお早めにお申し込みください。

申込方法

最終ページをご参照ください。定員になり次第締切。

**最終締切 2009 年 7 月 10 日(金)**

【旅行企画・実施】株式会社風の旅行社  
国土交通大臣登録旅行業第 1382 号 日本旅行業協会  
(JATA)会員  
〒165-0026 東京都中野区新井 2-30-4 I.F.O.ビル 6F  
総合旅行業務取扱管理者 原優二

【受託販売】株式会社ピース・イン・ツアー  
東京都知事登録旅行業第 3-3570 号 日本旅行業協会  
(JATA)会員  
〒162-0042 東京都新宿区早稲田町 67 早稲田クローバ  
ービル 5F  
総合旅行業務取扱管理者 松永充弘  
TEL:03-3207-3690 FAX:03-3207-6343

【現地プログラム企画・問い合わせ】  
(特活)国際子ども権利センター(シーライツ)  
〒110-0015 東京都台東区東上野 1-20-6 丸幸ビル 3F  
TEL/ FAX: 03-5817-3980 Email: info@c-rights.org  
www.c-rights.org



(特活) 国際子ども権利センター (シーライツ)  
 ≪カンボジア・スタディーツアー2009夏 日程表≫

旅行企画・実施: 株式会社 風の旅行社  
 受託販売: 株式会社 ピース・イン・ツアー

日次	月/日 曜日	都市	発着時刻	交通機関	スケジュール	食事
1	8月25日(火)	成田発 ホーチミン着/発 モックバイ着 バベット発 スパイリエン着	10:30 14:30 夕刻	VN951 専用車 V 専用車 C	ベトナム航空にてホーチミンへ 空港にてお出迎え、カンボジア国境までご送迎 (モックバイ~バベット国境で出入国手続き) カンボジア側の車でスパイリエン州都へ 到着後、ホテルへ スパイリエン/VAIKO HOTEL 泊	朝:各自 昼:機内食 (夕:レストラン)
2	8月26日(水)	スパイリエン	午前 午後 夕刻 夜	専用車	人身売買・児童労働防止活動に取り組む子どもたちの 学校訪問・活動する子どもと交流 通学支援家庭・牛銀行支援家庭訪問 陸路プノンペンへ移動 着後、ご夕食、その後ホテルへ プノンペン/GOLDEN GATE HOTEL(新館) 泊	(朝:レストラン) (昼:村の家庭) (夕:レストラン)
3	8月27日(木)	プノンペン	午前 午後	専用車	アフゼップ事務所訪問 トムディセンター(回復支援施設・職業訓練所)とフェア ファッション(裁縫所)にわかれて訪問 チャイルドセーフ・センター事務所訪問、トゥクトゥク運 転手インタビュー プノンペン/GOLDEN GATE HOTEL(新館) 泊	朝:ホテル (昼:レストラン) (夕:レストラン)
4	8月28日(金)	プノンペン	午前 午後	専用車	HCC 事務所訪問 アンロンコン識字教室訪問 グッディセンターで子ども達と交流 レクリエーション プノンペン/HCC グッディセンター 泊 希望者は GOLDEN GATE HOTEL(新館) 泊	朝:ホテル (昼:レストラン) (夕:センター/ レストラン)
5	8月29日(土)	プノンペン	午前 午後 夕刻	専用車	プノンペン観光(ツールスレン博物館、市場など) 自由行動 JICA のジェンダー専門家のお話(予定) プノンペン/GOLDEN GATE HOTEL(新館) 泊	朝:ホテル/ センター (昼:レストラン) (夕:レストラン)
6	8月30日(日)	プノンペン発 シェムリアップ着	午前 午後 夕刻 夜	専用車	振り返り 陸路シェムリアップへ移動 シェムリアップのホテル着 市内レストランにてアプサラダンスを見ながら夕食 シェムリアップ/ROYAL CROWN 泊	朝:ホテル (昼:レストラン) 夕:レストラン
7	8月31日(月)	シェムリアップ  シェムリアップ発 ホーチミン着	午前 午後 16:00頃 18:20 19:20	専用車 専用車 VN828	アンコールワット アンコールトム(南大門、バイヨン他) (ご出発2時間前迄に)空港までご送迎 ベトナム航空にてホーチミンへ 着後、国際線乗り継ぎ(トランジット) 機内泊	朝:ホテル 昼:レストラン 夕:各自
8	9月1日(火)	ホーチミン着 成田着	00:05 07:50	VN950	ベトナム航空にてご帰国の途へ 成田空港着	朝:機内食

※ピース・イン・ツアー手配分の食事・・・朝食5回、昼食1回、夕食1回(機内食は除く)。

※シーライツ手配分の食事・・・朝食1回、昼食5回、夕食6回(カック内)。

※8月28日に GOLDEN GATE HOTEL への宿泊を希望される方は、シングル¥4,000、ツイン(1人)¥2,200の追加料金がかかります。

※カンボジア国内の全行程は、現地日本語ガイドが同行し、ご案内します。

➤ **カンボジア豆知識**

面積:日本の約2分の1弱 人口:1340万人(2008年)  
 民族:カンボジア人(クメール人)が90% 言語:カンボジア語  
 宗教:仏教(一部少数民族はイスラム教)  
 一人当たりGDP 594USドル(2007年)

➤ **訪問地**

プノンペン・・・カンボジアの首都  
 スパイリエン・・・カンボジア南東部のベトナムとの国境沿いの州  
 シェムリアップ・・・アンコール遺跡群の観光拠点





## ツアーのポイント

- ☑ 現地の NGO を訪問し、子どもたちと交流します。『幼い娼婦だった私へ』の著者ソマリー・マムさんが創立した人身売買に取り組む NGO (アフエシップ) も訪問します。
- ☑ カンボジアで子どもの人身売買問題に取り組んできた甲斐田代表理事と現地スタッフが NGO 訪問に同行します。
- ☑ 世界遺産のアンコール遺跡群も観光します。
- ☑ 事前研修会でカンボジアの現状と子ども支援について学びます。

## 事前研修会を開きます

ツアー参加者を対象に事前研修を行います。  
 日時： 7月下旬を予定  
 開催地： 東京  
 内容： カンボジアの子どもの現状と支援  
 旅行上の注意 など



## 現地で訪問する NGO について

カンボジアでは、貧困のために人身売買や性的搾取、児童労働の被害にあう子どもたちがたくさんいます。シーライツでは、現地 NGO とのパートナーシップによって、これらの問題を防ぐための活動を行っています。ツアーでは、下記のパートナー NGO を訪問します。

### HCC



子どものためのヘルスケアセンター。1998 年設立。子どもたちを人身売買や性的搾取、児童労働から守るための防止プログラムを主に行っています。ツアーで訪問する HCC グッデイセンターでは、性的搾取の被害にあった、またはあう危険性のある 60 名前後の女の子たちが共同生活をしています。

### アフエシップ (AFESHIP)



困難な状況におかれた女性のための活動団体。1996 年設立。人身売買や性的搾取の被害者を救出、保護して社会復帰を支援する活動をしています。ツアーで訪問する職業訓練センターでは、人身売買や濫的搾取の被害にあった女性たちが、自立のために美容や裁縫の訓練を受けています。

### フレンズ・インターナショナル



1994 年設立。ストリートチルドレンのための教育や職業訓練、政府に対する政策提言など、さまざまなプログラムを実施しています。ツアーでは、子どもを性的搾取から守るチャイルドセーフ・プロジェクトを視察します。



アフエシップの創立者であるソマリー・マムさんは、ご自身も買春宿に売られた経験の持ち主であり、アフエシップでの活躍は世界的にも評価されています。ソマリーさんの著書をぜひ読んでみてください。

「幼い娼婦だった私へ」  
 ソマリー・マム (著) 高梨ゆうり (訳)  
 文藝春秋 2006、¥1,600 (税込)



## 参加者の声

矢作 晶子さん  
 (東京在住)



初めは、なんの知識も経験もなく飛び込んだスタディツアーでしたが、大変良い体験をさせていただきました。家族や友人にカンボジアに行くと言葉が足りないためか返ってくるのは「なんで?」「何をしに行くの?」「どんな所なの?」といった質問ばかりでした。中には、『闇の子供たち』を読んでカンボジアでも同じことが起きていると理解してくれたり、今まで行ったことのある国で一番好きかもしれないと話してくれた友人もいました。「ちっぽけな私に何ができるんだろう。答えを見つけてみたい。」それが私の心のもやもやと唯一はっきりとした意志でした。(中略)

旅を続ける中で、「何ができるんだろう?」というもやもやは、たくさんのヒントや答えにより次第に晴れていきました。特にストリートチルドレンの支援活動をしている方の「あなたのまわりに子ども買春をしようとする人がいたら止めるよう伝えて下さい」という言葉は大きなきっかけをくれました。まずは伝えることなら私にもできるし、カンボジアで起きている現実、良いところを知ってもらい関心を持ってもらうことから始めてみようと思えました。

ツアーで出会った方々には、本当に多くのものを与えていただきました。知識、情報、行動すること、受け入れる心、笑顔など様々です。何らかの形で返しができると思います。